

教職員の自己評価 集計結果(令和3年度末)

◆アンケート実施期間:2月1日～2月9日

◆県費負担教職員数12名

◆回答数:12 回答率(100%)

A:達成できた(85%以上)

B:ほぼ達成できた(70%以上85%未満)

C:十分でなかった(50%以上70%未満)

D:さらに努力を要する(50%未満)

項目	重点目標	番号	評価項目	評価
教育目標	人権教育の精神を基盤とし、調和のとれた心豊かな感性や自主的創造的に生きようとする実践力を培い、心身ともに健康でたくましい子どもを育てる。	1	学校教育目標を具現化するための学級目標を立てることができている。	B
		2	学級目標のもとめざす子ども像が達成できている。	
学校経営	学校教育目標達成をめざし、全教職員の協働体制を確立する。	3	教職員の校内人事や校務分掌が、適正・能力に応じて公平に分担され、意欲的に取り組める環境にある。	B
		4	機会を捉えた適切な指示や指導の下、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	
学校運営	全教職員共通理解のもと、学校運営に参画する意欲と創意を結集する。	5	教職員間の相互理解が十分に行われ、信頼関係に基づいた教育活動ができるように努めている。	B
		6	事故・事件・災害などに対して迅速・適切な対応ができるよう、普段から考えることができている。	
		7	日々の教育活動における問題点や悩みなどを、気軽に話し合える人間関係づくりに努めている。	
		8	子どもにとって有意義で効果的な学校行事を実施できている。	
計画	全教育活動を計画・実践・評価改善して、調和と統一を図る。	9	教育計画をよりよくするため、新しい要素を取り入れたり工夫したりすることができている。	B
学習指導	体験的な学習・問題解決的な学習を重視し、自ら学び自ら考える児童の育成に努める。 ア 励まし合い、支え合う仲間での学習する態度を養う。 イ 個に応じた学習活動を工夫し確かな学力の育成を図る。 ウ 地域の教材化を図り、さまざまな体験活動を取り入れた学習を充実させる。	10	各教科の指導内容について、基礎基本の定着に努めている。	B
		11	子どもの興味・関心・意欲を喚起するように、指導方法の工夫・改善に努め、わかりやすい授業に努めている。	
		12	学習が遅れがちな子どもに、適切な支援をすることができている。	
		13	地域の教材化を常に意識し、体験活動を積極的に取り入れている。	
		14	子どもの表現力・コミュニケーション能力を高めるための工夫ができている。	
人権教育	同和問題を人権問題の柱とし、人権に関する知的理解を深めたり、人権感覚を育てたりする教育活動や、一人ひとりが大切にされ、共に生きるための教育活動の創造と実践に努める。	15	子どもの発達段階や生活背景を理解し、全教科・全領域で人権教育の推進に努めている。	B
		16	人権学習の指導法の工夫・改善を行い、行動力の育成に努めている。	
		17	差別や偏見のない仲間づくりを基盤とした学級集団づくりに努めている。	
		18	体験をとおして、人権を正しく理解し、多くの人とのつながりのもてる子どもの育成に努めている。	
図書教育	朝読・家読の活動をとおして、読書量を増やすとともに習慣化を図る。また、思考力や読解力の育成に努める。	19	読書量を増やし、読書の習慣化を図ることができている。	B
		20	読書の習慣化を図ることにより、思考力や読解力を育成することができている。	

心の教育	魅力的な教材の開発や活用, 豊かな体験活動をとおして内面的自覚の深化に努め, 日常生活における道徳的実践力を培う。	21	道徳の時間の時数確保ができています。	B
		22	道徳的価値が自覚できるように, 指導方法の工夫・改善に取り組むことができています。	
		23	教科・特別活動との関連を重視した道徳の時間が展開できています。	
		24	豊かな体験活動をとおして, ふるさとを愛し, 誇りをもつ児童を育成することができています。	
生徒指導	ア 認め合い響き合う仲間づくりをする。 イ 教師と児童の人的ふれあいを密にし, 信頼感に満ちた生徒指導の充実を図る。 ウ 学校間及び家庭・地域と連携した指導体制の確立を図り, 望ましい生活の育成に努める。	25	児童の性格・希望・悩みなどを理解した上で指導することができています。	B
		26	組織的な生徒指導ができるよう, 情報を提供したり, 協力することができています。	
		27	集団的な生活規範(マナー・節度・協力など)を指導し, 効果を上げることができています。	
		28	基本的な生活習慣(規則正しい生活・あいさつ・言葉遣い)を子どもに身につけさせることができています。	
		29	家庭と連携を取りながら, 相談に丁寧に応じ, 生徒指導をすることができています。	
		30	仲間を大切に, いじめを許さない子どもの育成に努めた。	
特別教育支援	ア 全教職員の共通理解による指導体制をとる。 イ 個々の児童の実態を把握するとともに, 個に応じた指導と支援の方法を研究し実践する。	31	全教職員の共通理解を図るための機会を適切に設定することができています。	B
		32	個に応じた指導と支援の方法を研究し, 指導に生かすことができています。	
保健・安全	ア 心身の調和的発達を促し, 健康増進・体力の向上に努める。 イ 防災・不審者対応に関して, 日常生活に生かせる安全・防災教育をすすめる。	33	安全点検を定期的実施し, 的確に処理できている。	B
		34	マニュアルに沿って避難訓練を実施し, 迅速・的確に行動できる児童の育成に努めている。	
		35	安全・健康・体の成長に留意させるための働きかけを日常的に行うことができています。	
		36	外遊びや徒歩通学の奨励等, 体力向上への働きかけを日常的に行うことができています。	
情報国際化	ア 国際理解学習や異文化交流などを行い, 国際感覚を養う教育活動に努める。 イ ICTの効果的な活用を行い情報活用能力の育成に努める。	37	国際理解学習や異文化交流を積極的に取り入れ, 国際感覚の育成に努めている。	B
		38	ICTの効果的な活用を研究し, 学習に積極的に取り入れることに努めている。	
総合的な学習	自らが課題意識をもち, 主体的創造的に取り組む態度を育て, よりよく問題解決する力と生涯学習の基礎となる「生きる力」の育成に努める。	39	一人ひとりに課題意識をもたせ, 主体的・積極的に取り組む態度を育てるため, 授業を工夫・改善することに努めている。	B
		40	「生きる力」を育成するための効果的な指導・方法の研究に努め, 実践している。	
研修	使命感に燃え, 進んで研修し, 教師力の向上を図る。	41	各種研修に積極的に参加することができています。	B
		42	研修したことを学級の指導に生かし, 成果を上げることができています。	
地域との連携	教育活動を公開するとともに, 情報の発信に努め, 目標の共有化を図り, 学校と地域の協力体制を構築する。	43	学級・学校だより・ホームページ等で子どもたちの様子や学習内容を伝え, 保護者との協力関係を構築することができています。	B
		44	体験活動や人々との交流活動に取り組み, 豊かな心の育成に生かしている。	
働き方改革	子どもとしっかり向き合うために, 意識改革と業務改善を進め, 業務の効率化に努める。	45	出退勤時刻管理ソフトを活用し, 長時間勤務の是正に努めた。	B
		46	ICTを活用し, 業務の効率化を図った。	
		47	自分にゆとりを持って子どもと向き合うことができた。	